

角島灯台公園

角島灯台は明治9年(1876)に完成した日本海側初の洋式灯台です。明治政府最初の御雇外国人R.H. プラントン(英国)の最高傑作と言われ、内外ともに重厚で華麗な意匠を施された総御影石造りの灯台は、近年文化的にも歴史的にも貴重な近代化遺産として高い評価を受けています。この角島灯台を核として散策路や広場、灯台記念館、展望ギャラリー等を整備しています。

今なお現役、英国製の正八角形一等回転フレネルレンズ▶



▲角島灯台公園

角島灯台記念館は、旧吏員退息所を改装してつくられました。角島灯台をはじめ、日本各地の灯台について学ぶことができます。

☎083-782-1914(豊北町観光協会)

▼第1展示室/灯台長の部屋を復元。歴代灯台長の紹介や所蔵品を展示。



▲第2展示室/角島灯台の構造や閃光について学べると共に灯台関連の器具を展示。



▲台所・浴室から見た中央廊下

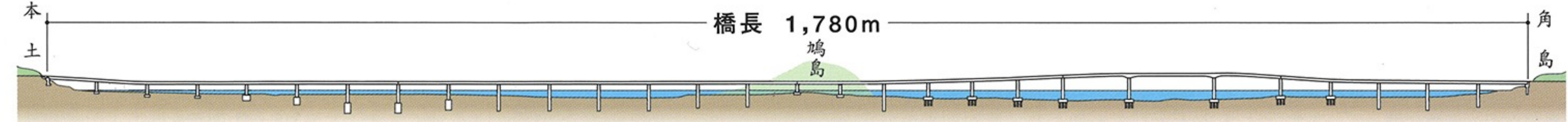
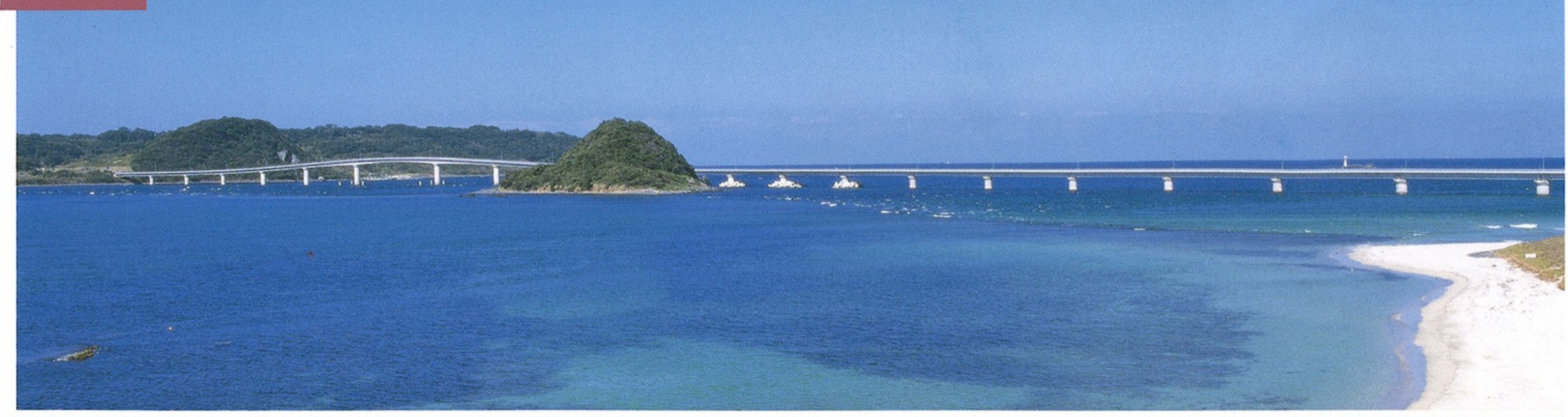


灯台記念館

リチャード・ベンリー・プラントンは日本の灯台の父であると同時に、日本に近代工学技術をもたらした先駆者でもありました。

▲第3展示室/プラントンが設計を手掛けた灯台を中心に、日本の代表的な灯台を紹介。

角



橋

角島大橋

- 橋長 1,780m
- 橋脚 28基
- 幅員 6.5m
- 拡幅部 11.5m
- 車線数 2車線
- 航路高 18m
- 航路幅 70m

起工 ●平成5年9月6日
開通 ●平成12年11月3日

山口県下関市豊北町(角島)位置図

交通のごあんない

お車にて
〔広島方面より〕
中国自動車道 美祿I.Cから
国道435号線経由 ―約60分
〔福岡方面より〕
中国自動車道 下関I.Cから
国道191号線経由 ―約70分
JR山陰本線にて
海部駅からブルーライン交通バス
(角島行き)で角島入口(瀬崎)
まで ―約23分

角島観光案内●山口県下関市豊北町/豊北町観光協会(道の駅北浦街道豊北内)TEL(083)786-0234 / 下関市役所豊北総合支所地域政策課 TEL(083)782-1914
平成30年3月再版 H30-3-25,000



Emerald Green Island ; Tsunoshima